

# 令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号: 24017

学校名: 南白石小学校

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子>	<p>○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 握力、立ち幅跳び、反復横跳び、ソフトボール投げ、反復横跳び</p> <p>○前回の記録より下回った種目 50m走、上体起こし、シャトルラン</p>	<p>・体育の授業では、積極的に参加し、活動の機会が得られていた。</p> <p>・休み時間の体育館の開放を行ったことで、一輪車やフラフープなどを活用する児童もおり、積極的に運動に親しむことができた。</p> <p>・学校全体でソフトボール投げは概ね全国を上回り、ドッジボール等の遊びでボールに親しんでいることも要因の一つと考えられる。</p> <p>・50m走では全国平均を下回る結果となり、「走る遊び」や縄跳びで走力を付けることが大切である。</p> <p>・全国平均、市と比較して、男女共に「運動が好き」と答えた児童がやや多く、「体育の授業が楽しい」と感じている児童も多かった。昨年度より、両項目において女子児童の割合が大幅に増加した。「ほとんど運動しない子ども」の割合は昨年に比べ男子児童ではやや増加したものの、女子児童では大幅に減少した。女子児童の運動への意識の増加に伴い、女子児童の体力・運動能力の上昇が見られた。</p>
体力・運動能力 <女子>	<p>○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 握力、立ち幅跳び、反復横跳び、シャトルラン、50m走、長座体前屈</p> <p>○前回の記録より下回った種目 上体起こし、ソフトボール投げ</p>	
運動・スポーツへの意識 運動習慣	<p>・「運動やスポーツをすることが好き」「体育の授業は楽しい」と回答する子どもの割合 「運動」男子: 78.6%、女子: 60.0%、 「体育」男子: 78.6%、女子: 73.3%</p> <p>・体育の授業を除く1週間の総運動時間は大幅60分未満の 「ほとんど運動しない子ども」の割合 R6男子: 10.0% 女子: 30.8% R7男子: 14.2% 女子: 7.1%</p>	

<b>三つの取組</b>	<b>① 体育・保健体育等の授業の充実</b>	<b>② 授業以外で子どもの運動機会を創出する取組</b>	<b>③ 子どもが自らの健康づくりを図る取組の充実</b>
--------------	-------------------------	-------------------------------	-------------------------------

<b>具体的な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「課題探究的な学習」を推進し、運動の楽しさに触れながら、自らの体力向上の意欲を生むきっかけとして体育の授業の改善に努める。</li> <li>① 体力テストの有効活用。(自己の体力向上へのめあてづくり→自己評価)</li> <li>② 体育学習の準備運動を全学年で共通に実施し、通年で継続する。(みなしろ体操・なわ跳び運動の充実)</li> <li>③ 発達段階、系統性を意識した体育学習の充実を図る。(マット運動週間、跳び箱運動週間・学習カードの整備・体育館掲示物 等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運動機会の充実を図る環境を整備し、児童自ら体力づくりのためにその環境を積極的に活用できるようにする</li> <li>① 中休み、昼休みは積極的に体を動かすように意図的計画的に指導する</li> <li>② 休み時間の体育館・グラウンド遊びを活性化するための施設設置</li> <li>● 三間(仲間・時間・空間)の創出により運動機会の充実を図る取組</li> <li>① 異学年交流でのみんな遊びの実施</li> <li>② 各学級における、中休み、昼休み時間の全員遊びの奨励</li> <li>● 子どもによる運動機会を創出する取組の立案・実現</li> <li>① 委員会主体での縄跳び週間、大会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各教科等の内容を関連付けた健康教育の推進</li> <li>① 家庭科や保健体育等の指導の充実を通して、望ましい生活習慣の定着を図る。</li> <li>② 児童委員会等での健康増進に関する啓発活動(全校朝会等)</li> <li>● 食に関する指導の充実</li> <li>① 栄養教諭と連携し、食指導を充実化。</li> <li>● 外部講師の活用など家庭・地域との連携・協働</li> <li>① 規則正しい生活習慣の奨励、運動の機会増加について家庭との連携強化(通信、学校説明会等を通じて理解と協力を求める。)</li> <li>③ 「心と体と命の学習」の全学級実施継続、「歯科指導」等、ゲストティーチャーを迎えての授業の充実。</li> </ul>
---------------	--	--	--

<b>家庭・地域との連携・協働</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域運動行事への積極的参加奨励と地域行事の紹介</li> <li>● 学校説明会等で、各家庭での運動の症例を実施</li> </ul>
---------------------	--